



記号学会分科会
「運ぶ」ものとしてのヴィーケル概念

第三回研究会

ヴィーケルと 現代の芸術

2015年7月12日(日)13時～
於・京都大学(吉田キャンパス)
文学部新館第6講義室

研究発表

伊藤京平(立命館大学)

「アフォーダンスとは何か」

大崎智史(神戸大学)

「音声の可視化

—トーキー移行期における映像表現の変容をめぐって」

特別トーク企画

とんぼせんせい(イラストレーター) 須藤絢乃(美術家/フォトグラファー)

「ヴィーケルと現代の芸術」

司会 加藤隆文(京都大学)